

指定管理業務総合評価票

施設名	たからだの里さいた「環の湯」「物産館」「湯の谷荘」「ふるさと伝承館」「パークゴルフ場」
指定管理者名	株式会社 たからだの里
施設所管課	政策部産業政策課
調査日時	令和4年6月13日(月)：16時00分～17時00分

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価
1 実施体制	施設管理 協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	B	B
	人員体制 仕様書等に従った人員（人数、有資格者）を配置しているか	B	B
	スタッフのシフトは適正であるか	B	B
	事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	B	B
	利用料金 利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	B	B
	外部委託 外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	A	A
		B	B
	記録管理 業務日誌等を適切に作成・保管しているか	B	B
		B	B
	報告書提出 協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	A	B
	連絡調整 市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	B	B
	危機管理 危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等をおこなっているか	B	B
		B	B
		A	B
	個人情報保護 個人情報等の管理は適切か	B	B
		B	B
		B	B
	情報公開 情報公開に関する規定が整備されているか	B	B
		B	B
	【1 総括】 実施体制に関する評価（標準19項目・本施設19項目）	B	B
	指定管理者の自己評価 各担当者を据えて、責任をもって業務を行っている		
	施設所管課の評価 計画どおりの人員を配置し、清掃や警備などは専門業者に委託して適切に行っている。物産館では出品者団体と連携した商品販売の実施ができる。		
2 サービス等の内容や水準	利用者対応 施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	B	B
		B	B
	利用案内 ホームページ、パンフレット等は見やすく、適宜更新されているか	A	A
		B	B
	利用状況 施設の利用者数や稼働率は適正であるか	B	B
		B	B
	事業の実施 事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	B	B
		B	B
		B	B
		B	B
	環境への配慮 省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	B	B
	苦情等の対応 苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	B	B
	利用者への調査 利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	B	B
		B	B
	維持管理 仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	B	B
		B	B
		B	B
		B	B
		B	B
	【2 総括】 サービス等の内容や水準に関する評価（標準19項目・本施設19項目）	B	B

	指定管理者の自己評価	新たに設備台帳を作成。従業員全てに確認できるようにクレーム報告書等を改めて作成している。コロナの影響もまだあり、利用者数など課題が残る。		
	施設所管課の評価	ホームページやSNSによる積極的な情報発信で利用促進が図られている。利用者が多い道の駅の施設内は清掃が行き届き、衛生的な状態が保たれている。		
3 収支等	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか 専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	B	B
	予算執行	収支計算書に則し、適正に予算を執行しているか	B	B
	経費節減	計画どおりの経費節減の取組み、またはその他の取組を実施し、その効果があったか	B	A
	収支状況	事業収支は妥当であるか	B	A
	【3 総括】	収支等に関する評価（標準5項目・本施設5項目）	B	A
	指定管理者の自己評価	全体としてはまずまず。コロナの影響もあったが施設により課題が。		
	施設所管課の評価	新型コロナウイルスの影響が続く中、利益を確保した良好な施設運営を行っている。		
	【4 総合評価】	1～3の項目の総括による総合評価	B	B
(提案・成果・その他特記事項等) 5	指定管理者	コロナ禍の中、新商品の取り扱い、パン工房やRVパークがオープンしたこともあり、売上や利用者を増やすことができた。その分経費も増えたが、今後の課題として経費削減に努めたい。経年劣化もあり修繕箇所も少なくないが、施設設備管理にも徹底して取り組みたい。		
	施設所管課	環の湯の利用者数がコロナ禍で横ばいの中、物産館の売上げは新設したベーカリーコーナーの効果もあり、コロナ前の水準に戻っている。今後は経費削減への取り組みにも期待したい。		

*評価区分

①評価基準	A (優 良) : 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である。 B (良 好) : 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。 C (課題含) : 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。 D (要改善) : 協定書、仕様書等を遵守しておらず、改善の必要な内容である。
② 【総括】	A (優 良) : 評価基準がすべてB以上であり、かつAが過半数以上である。 B (良 好) : 評価基準がすべてC以上であり、かつB以上が8割以上である（上記以外）。 C (課題含) : 評価基準がすべてC以上である（上記以外）。 D (要改善) : 評価基準にDが含まれている。
③総合評価	A (優 良) : 【総括】がすべてB以上であり、かつAが2つ以上である。 B (良 好) : 【総括】がすべてB以上である（上記以外）。 C (課題含) : 【総括】がすべてC以上である（上記以外）。 D (要改善) : 【総括】にDが含まれている。